

多様な支援で成長支える

ハンドルの重みは命の重み

交通事故・飲酒運転ゼロを目指して

見守る大人の存在重要

公益財団法人交通遺児育英会は1969年の発足以来、交通事故で保護者が亡くなった、重度の障害を負ったこと、経済的に修学が困難になった子どもたちに奨学金の給付・貸与などを柱に、学生寮の運営や海外語学研修などのさまざまな支援を続けている。また、交通遺児を生まないために、交通事故・飲酒運転ゼロを目指し、交通安全推進運動への協賛・協力事業も展開している。同会の石橋健一会長と、夫の交通事故を通して「生きる」をテーマにした映画「茜色に焼かれる」に主演した俳優の尾野真千子さんが居住する沖縄での交通事故・飲酒運転ゼロを目指すにはどうすればよいかを語り合った。

(企画・制作 琉球新報社統合広告事業局)

公益財団法人 交通遺児育英会
会長 石橋 健一 氏

対談

俳優
尾野 真千子 さん

いしばし・けんいち 1942年生まれ。北海道大学工学部卒業後、日新製鋼(現日本製鉄)入社。呉製鉄所エネルギー技術課、本社人事などを経て、96年交通遺児育英会に出向。事務局長、専務理事、理事長を歴任し2023年6月より現職。

おの・まちこ 1981年生まれ。奈良県出身。今帰仁村在住。97年に映画「萌の朱雀」で主演デビュー。同年シンガポール映画祭で主演女優賞を受賞。代表作に連続テレビ小説「カーネーション」、映画「残(もがり)の森」、「そして父になる」、「茜色に焼かれる」など。そのほか、日本アカデミー賞優秀主演女優賞、キネマ旬報ベスト・テン主演女優賞ほか多数の主演女優賞を受賞。



交通遺児や飲酒運転ゼロにするために何ができるか語り合った交通遺児育英会の石橋健一(右)と尾野真千子(左)が那覇市泉陽の琉球新報社

尾野 交通遺児育英会設立の経緯について教えてください。

石橋 1960年代の高度経済成長期は自動車が増えると同時に交通事故が急増し、70年には1万6千人余りが交通事故で亡くなりになりました。事故で保護者を失い、経済的な理由から進学が困難になった子どもたちを支援するための組織設立を求め、69年に交通遺児育英会は設立されました。

尾野 支援内容について具体的に教えてください。

石橋 奨学金の貸与(一部給付)をはじめ、関東と関西で学生寮「心塾」の運営、高校奨学生を対象にした海外語学研修、同じ境遇の親子が集い、進路や悩み、夢などを語り合う「高校奨学生と保護者のつどい」、地域で保護者同士が交流し情報交換や悩みを相談する「語りあいカフェ」の開催など多岐にわたります。近年は給付型支援を拡大しています。2020年から高校生を除く奨学生を対象に月2万円の奨学金の給付を開始し、23年からは高校生にも月1万円を給付しています。学費外の経費に関しては、自宅外通学者への家賃補助、大学や専門学校を受験する場合の進学受験費用の補助、自動車

運転免許取得費用補助、検定試験や資格試験費用の補助も行っています。

尾野 もう一点、ヤングケアラーの問題があります。奨学生を対象にした調査では12・4%が「世話をしてもらっている家族がいる」と回答しています。なるべくしっかりとした支援につなげるため、該当すると思われる奨学生のみならず個別面談を進めています。

尾野 非常に多くの支援をされているので驚きました。さまざまな事故、災害で保護者を亡くす人たちがいて困難に立ち向かっている中で、これだけの手厚い支援があり、交通遺児の皆さま、ご家族は心強いですね。少しでも前向きになれるのではないのでしょうか。奨学金の資金はどのようにして成り立っているのですか。

石橋 多くの個人、法人及び団体からの寄付に支えられています。寄付をしてくださる「あしながおじさん」は全国で3千人前後いらっしゃる。8割は一般の方。2割が法人です。この比率は昔から変わっていません。

尾野 世の中は、自分の行いに胸を張りたい人が多いのに、「あしながおじさん」として匿名で人知れず交通遺児をそっと支えている人がこれだけいるのは、素敵なことですね。

石橋 子どもたちが夢を諦めないために、支援を見守る大人の存在は非常に大切です。

尾野 高年齢ドライバーの事故を防ぐには、高年齢ドライバーが増えていると感じます。高齢になれば免許を返納すべきなのでしょうが、車がなくて生活できない地域が多いのも現実です。私の実家のある奈良県もそうです。車がないと山を下りることができません。高齢者が運転しなくても生活に支障がないような仕組みが必要だと感じます。

石橋 その通りで、非常に難しい問題です。

尾野 全面的な交通事故での事例などご紹介いただけないでしょうか。

石橋 交通遺児や保護者のみなさんの体験を伺うと、全てを一言で、描いていた夢、全てを瞬間にして奪ってしまいがちなのが交通事故です。沖縄は車社会ゆえに交通事故や飲酒運転など発生率の高さが長年、社会問題になっています。

尾野 今帰仁村で居酒屋をしていますが、店ではお客さまが飲酒運転をしないように、運転代行サービスやタクシーの利用を呼び掛けています。

石橋 ごくわずかなお酒でも身体と精神に影響を与え、運転能力、判断力が低下します。飲酒運転の死亡事故率は飲酒無しの場合の約7・6倍に上ります。飲酒運転の危険性はもっと知っていただかなければいけないと思っています。

尾野 少しずつでも交通事故・飲酒運転がゼロに近づくことを願っていますが、尾野さんから運転者に向けて、交通安全意識を高めるためのメッセージはありますか。

奨学金利用者の声

見えないところで支えられていた

島袋飛雄真さん(19) 南風原町

バイクで帰宅途中の父が信号無視の車に衝突され、死亡した時、私は小学校1年生でした。身近な人が亡くなるのは初めてだったので、実感が湧きませんでした。

私は4人きょうだいの末っ子です。専業主婦だった母は、父亡き後、パートで働き始め、4人の子どもを育ててくれました。今考えると、大変だったと思いますが、私たちにそれを感じさせることはありませんでした。子どもたちにさみしい思いや不自由な思いをさせないように、母を始め周りの大人たちが支えてくれたのだと思います。

コロナ禍で多くの中小企業が苦境に陥つたのを見て、マーケティングの力で企業を強くする助けがしたいと思うようになり、今は沖縄国際大学で経済を学んでいます。将来は中小企業診断士になりたいと考えています。

7月に自動車運転免許を取得しました。5キロスピードを上げて到着時間はそれほど変わらないし、この信号をぎりぎりでも通過できて次の信号で引っかければ同じです。荒い運転をすると事故のリスクだけでなく、燃費も悪い。いいことは一つもないので、安全運転が一番です。免許取得費用は交通遺児育英会の補助を受けました。育英会の支援を知ったのは、今年に入ってからです。母の友人が教えてくれました。

育英会には支援者も多いと聞いています。私たちの気付かないところで支えてくれている人たちの存在を忘れず、社会にいい影響を与えられるようにしたいです。

尾野 高年齢ドライバーの事故を防ぐには、高年齢ドライバーが増えていると感じます。高齢になれば免許を返納すべきなのでしょうが、車がなくて生活できない地域が多いのも現実です。私の実家のある奈良県もそうです。車がないと山を下りることができません。高齢者が運転しなくても生活に支障がないような仕組みが必要だと感じます。

石橋 その通りで、非常に難しい問題です。

尾野 全面的な交通事故での事例などご紹介いただけないでしょうか。

石橋 交通遺児や保護者のみなさんの体験を伺うと、全てを一言で、描いていた夢、全てを瞬間にして奪ってしまいがちなのが交通事故です。沖縄は車社会ゆえに交通事故や飲酒運転など発生率の高さが長年、社会問題になっています。

尾野 今帰仁村で居酒屋をしていますが、店ではお客さまが飲酒運転をしないように、運転代行サービスやタクシーの利用を呼び掛けています。

石橋 ごくわずかなお酒でも身体と精神に影響を与え、運転能力、判断力が低下します。飲酒運転の死亡事故率は飲酒無しの場合の約7・6倍に上ります。飲酒運転の危険性はもっと知っていただかなければいけないと思っています。

尾野 少しずつでも交通事故・飲酒運転がゼロに近づくことを願っていますが、尾野さんから運転者に向けて、交通安全意識を高めるためのメッセージはありますか。

石橋 子どもたちが夢を諦めないために、支援を見守る大人の存在は非常に大切です。

尾野 高年齢ドライバーの事故を防ぐには、高年齢ドライバーが増えていると感じます。高齢になれば免許を返納すべきなのでしょうが、車がなくて生活できない地域が多いのも現実です。私の実家のある奈良県もそうです。車がないと山を下りることができません。高齢者が運転しなくても生活に支障がないような仕組みが必要だと感じます。

石橋 その通りで、非常に難しい問題です。

尾野 全面的な交通事故での事例などご紹介いただけないでしょうか。

石橋 交通遺児や保護者のみなさんの体験を伺うと、全てを一言で、描いていた夢、全てを瞬間にして奪ってしまいがちなのが交通事故です。沖縄は車社会ゆえに交通事故や飲酒運転など発生率の高さが長年、社会問題になっています。

尾野 今帰仁村で居酒屋をしていますが、店ではお客さまが飲酒運転をしないように、運転代行サービスやタクシーの利用を呼び掛けています。

石橋 ごくわずかなお酒でも身体と精神に影響を与え、運転能力、判断力が低下します。飲酒運転の死亡事故率は飲酒無しの場合の約7・6倍に上ります。飲酒運転の危険性はもっと知っていただかなければいけないと思っています。

尾野 少しずつでも交通事故・飲酒運転がゼロに近づくことを願っていますが、尾野さんから運転者に向けて、交通安全意識を高めるためのメッセージはありますか。

各団体の支援事業・育英事業

公益財団法人交通遺児育英会

公益財団法人 沖縄県交通遺児育成会

交通事故ゼロ、飲酒運転ゼロを目指して、無料出張講演を行っています。

交通遺児や保護者の方の体験を視聴いただくことは、交通安全の大切さを実感する絶好の機会となります。ぜひ、お問合せください。

交通遺児育英会は、50年以上にわたり、保護者が交通事故で亡くなったり、重度の後遺障がいのため、経済的に修学が困難になった子どもたちに、高校や大学・専門学校などへの進学を支援し続けています。修学を終えると、社会に役立つ人材として羽ばたいていきます。私たちの活動は大きく5つの事業で成り立っています。

- 1 奨学金の無利子貸与(一部給付)
- 2 奨学生の指導および育成と交流
- 3 学生寮「心塾®(こころじゅく)」の運営

- 4 修学支援金の給付
- 5 交通安全推進運動への協賛・協力、無料出張講演等

私は、進学の夢をあきらめない。
公益財団法人 交通遺児育英会

募金課 ☎ 0120-521285 (平日9:00~17:30)
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1 平河町ビル3階

交通遺児育英会 検索
bokinka@kotsuiji.com

